

製品名: SMC1 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80797**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	143kDa

抗原情報

遺伝子名	SMC1
別名	SMC1; SMCB; CDLS2; SB1.8; SMC1L1; DXS423E; KIAA0178; MGC138332; SMC1alpha; DKFZp686L19178; SMC1A
遺伝子 ID	8243.0
SwissProt ID	Q14683
免疫原	大腸菌で発現したヒト SMC1 の精製された組み換え断片。

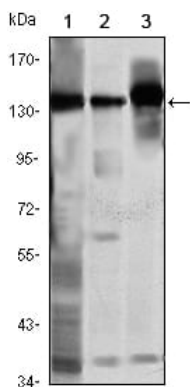
背景

姉妹染色体の適切な接着は、細胞分裂中の染色体の正しい分離の前提条件です。姉妹染色体の接着には、コヒーシン多タンパク

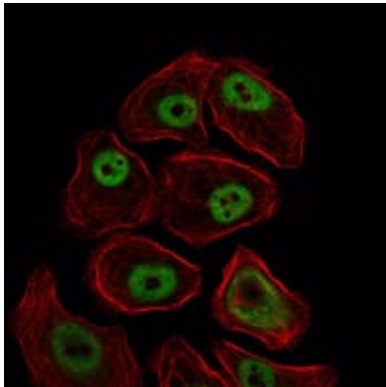
質複合体が必要です。この複合体は、2つの染色体構造維持 (SMC) タンパク質、SMC3 と、SMC1L2 またはこの遺伝子によってコードされるタンパク質のいずれかから部分的に構成されています。コヒーシン複合体の大部分は有糸分裂前に染色体から解離しますが、動原体の複合体は残ります。そのため、コードされるタンパク質は機能的な動原体の重要な部分であると考えられています。さらに、このタンパク質は BRCA1 と相互作用し、ATM によってリン酸化されることから、DNA 修復においてこのタンパク質が役割を果たしている可能性があります。SMC 遺伝子ファミリーに属するこの遺伝子は、X 染色体の不活性化を免れる領域に位置しています。

研究分野

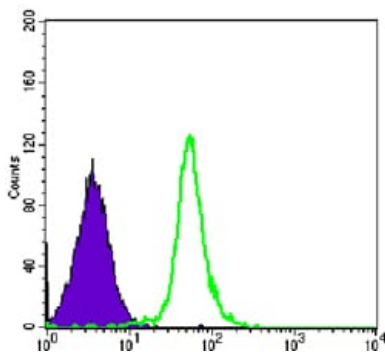
画像データ



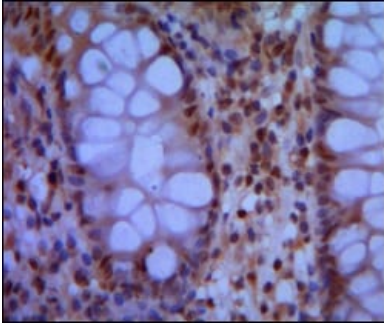
K562 (1)、Jurkat (2)、および A549 (3) 細胞溶解物に対する SMC1 マウス mAb を使用したウエスタンブロット分析。



SMC1 マウス mAb (緑) を用いた NIH/3T3 細胞の免疫蛍光染色。赤: アクチンフィラメントを Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識。



SMC1 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (紫) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。



SMC1 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト結腸の免疫組織化学分析。